

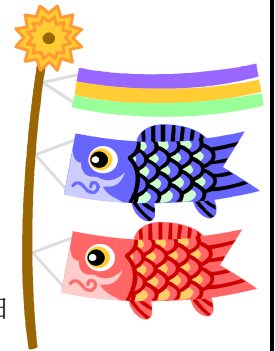


# みさごたより

Espressivo Part10



## 5月5日は「こどもの日」!



今年度最初の話題は、「こどもの日」にまつわるお話をしてみましょう♪

この「こどもの日」祝日法（国民の祝日に関する法律）では、

「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」

と定めています。つまり、みんなが元気に育ち大きくなったことをお祝いする日

であると同時に、生んでくれたお母さんに感謝する日でもあるんですよ。そのことも知っていてくださいね。

さて、「こどもの日」で思い浮かぶのは、鯉のぼり ↑ ですが、なぜ、鯉のぼりを立てるのでしょうか？ このことについてお話します。



←「鯉」はもともと大変生命力の強い魚で、流れの速い川でも元気に泳ぎ、実際に小さな滝などは登ってしまうそうです。中国では、黄河という大きな川の上流に竜門という、滝などが連なる流れの激しいところがあり、そこを鯉がのぼり竜となって天に昇ったというお話が伝わっています。登竜門（「将来を左右する大事な試験」の意味）という言葉は、ここからきているんですね。

そんなたくましい鯉のように、子供たちが元気に健やかに育ってほしいとの願いから、江戸時代より 鯉のぼり は姿が見られるようになり、現在に至っています。



鯉のぼり のつくりですが、一番上にある金色の玉と風車は、**矢車**（羽が矢羽根の形をしています）といい、神様が降りてくる目印になります。

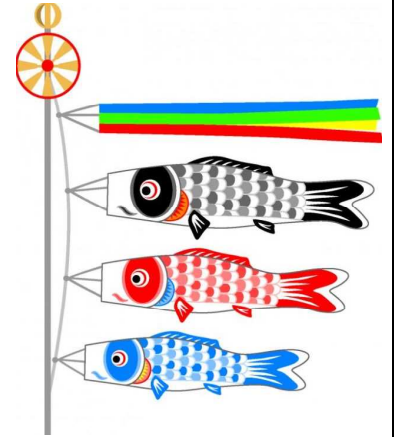
次に5色の **吹き流し** がきますが、これはその次に来る 鯉 たちをまも やくばら やくわり は 守る厄払いの役割を果たしています。

さて、「こいのぼり」を代表する歌は、この2曲が広く知られています。「やねよーりーたーかーい こいのぼり〜♪」（作詞：近藤宮子 /作曲：不明 昭和6年）と「いらかの波と 雲の波〜♪」（作詞：不明 /作曲：弘田龍太郎 大正2年）

先月、幼稚園のお集まり会で、「こいのぼり」外から歌いますね。と言って屋外で「いらかの波とお〜♪」歌って聞かせたのですが、園児たちは「やねよ〜り♪」の方をイメージしていたらしく…??? という反応だった??? そうで、後で聞きました。来年度は、「やねよ〜り♪」の方を歌いたいと思います。（ちなみに、「いらかの波〜♪」は小5の音楽で習うはず?です。）

\* 裏面は、もう少し「こいのぼり」歌と、まさかの食? についてです。 つづく

鯉のぼり 鯉の配置についてですが、江戸時代は 真鯉 が一匹だけ  
 でした。それが、明治以降は 2匹 が主となります。ですから、  
 「やねより〜♪」の方では、



“ 大きい真鯉はおとおさん〜 小さい緋鯉はこどもたち〜 ”  
 と変化していきます。 気づきました？ あれ、おかあさんは???  
 お母さんが登場するのは、太平洋戦争以降なんです。

歌われている 緋鯉 とは、平安時代から日本に伝わる鮮やかな赤色  
 これが 緋色 であり、赤い鯉を意味しています。そのため戦後は、緋鯉はお母さん、それに続く 青  
 とか緑が 子供たち というように変わってきました。 時代と共に、鯉のぼり も成長しています。

さあ次の話題は こどもの日の食！ といえば 「ちまき」！

だって歌では 「ちーまーきー食べ食べ兄さんがあ〜♪」 とあるでしょう。ここで衝撃の事実を  
 伝えます。



私は、「ちまき」といえば  
 ←これだと思っていました。  
 ところが、日本全国、一般的なのは



こっち →  
 このことを知ったのは、大学(場所は岡山)

へ入学した時なんです。  
**私** : 実家から「ちまき」送ってきたから、みんなで食べよう♪  
**みんな** : 何? その変な色の食べ物???  
**私** : え! 「ちまき...」  
**みんな** : 「ちまき」って普通は、こんなの だよ!  
**私** : えっ、え〜???

味はおおむね好評でしたが、「鹿児島って変わってるね〜」と言われました… まさかの郷土料理!  
 鹿児島郷土の味「あくまき」(ちまき)は、島津義弘公が朝鮮出兵や関ヶ原の戦いの際、軍事食と  
 して持っていったのが始まりと言われています。

義弘公と言えば、文禄・慶長の役(朝鮮出兵)での活躍がすさまじく、明軍からは「鬼島津」と  
 大変恐れられていました。関ヶ原の戦いでも、家康本陣を衝く敵陣中央突破の退却は、歴史にその  
 名をとどめ家康を大変こわがらせたそうです。(後の戦後処理で、領地が変わらなかったのは、  
 「島津を敵にしたら…」との思いがあったとも言われています)。



高温多湿な鹿児島にありながら保存食として伝えられた「あくまき」

(当時の他国の軍事食よりかなり優れています)

これらの伝統を感じ、食してみましょ。

きっと元気がでます!

それではみんな、コロナに気をつけつつよきGWをお過ごしくだ  
 さい。 連休後、元気に会いましょ♪